

摂食障害は、回復できる

わたしは、理解されることを、
ずっとあきらめていた。

だからこそ今、支える力とつながりを

✿✿✿ 2025年度 第2回 精神看護学セミナー ✿✿✿

摂食障害からのリカバリーを考える

摂食障害は、「回復できる障害」です。

しかし、支援体制や社会的理解が十分ではなく、当事者や家族が孤立し、病院、学校、地域において、周囲の支援者もどのように関わればよいか悩む現状があります。回復のためには、疾患を理解した支援を継続的に行えるよう、人と人が繋がり、支援の場を作っていくことが必要です。本セミナーでは、摂食障害への理解を深め、多様な立場の方々が「私たちにできること」を考える機会にしていきたいと思います。医療・教育・福祉・行政・地域住民・当事者・ご家族など、どなたでもご参加いただけます。多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

2025年

8/31 (日)

13時半～16時半

会場

福島県立医科大学 光が丘キャンパス 8号館3階 N301講義室
〒960-1295 福島市光が丘1番地（詳細は大学HPのMAPをご確認ください）

参加費：無料

13:30~13:35 開会

13:35~14:25 話題提供①

14:40~15:30 話題提供②

15:45~16:25 質疑・意見交換

16:25~16:30 開会

話題提供①

話題提供②

誰も取り残さない摂食障害支援の実現に向けて

摂食障害は適切な支援により回復できる障害です。しかし、支援体制が不十分で、職種間の連携も課題です。本研修では、摂食障害の理解を深め、海外での取り組みを紹介しながら、医療にとどまらず、地域や多職種が連携し、誰も取り残さない支援体制について皆さんと考えていきたいと思います。

吾妻 陽子

訪問看護ステーション りんく 所長



回復を支える-看護面接から見えた摂食障害支援-

摂食障害患者の回復支援に関する研究として、入院患者への看護面接を行いました。本研修では、病理の理解、関係構築、日常生活へのかかわりなど、研究で得られた様々な支援のポイントを紹介し、これから支援や、地域で私たちができることを考えるきっかけにしていただければと思っています。

磯上 茜

訪問看護ステーション りんく 職員



申込方法

右のQRコードからお申込みください。

申込締切：2025年8月22日(金)

*本フォームでのお申込みができない場合には、下記《問合先》までご連絡ください。



問合先

福島県立医科大学 看護学部 小児精神看護学部門 佐藤利憲
Mail: sato-lab@fmu.ac.jp TEL:024-547-1844

共催事業所紹介

訪問看護ステーション りんく

精神科看護に特化した訪問看護ステーション
訪問地域は、県北地域（他地域要相談）
利用者・ご家族様の希望と個人の持っている力を
大切にした支援を行います。

福島市黒岩字弥生41-2 / TEL:024-527-3177